



民間と連携した地域課題解決を

山田 龍治 議員

問 スタートアップ企業と行政職員が協働し、地域の課題解決を図るアーバンイノベーションジャンパンの取組がある。本市も取り組む考えはないか。

答 デジタルトランスフォーメーションの取組に向けた人材確保と人材育成はどのように考えているか。

答 地域・行政におけるさまざまな課題の解決と企業等の育成・支援に関する手法として、他自治体の取組状況を踏まえ調査研究していく。



神戸市の新しい取組

答 一人人材の育成に関しては、引き続き、各種研修への参加や国の地域情報化アドバイザーによる専門助言を受けることなどにより、情報化担当職員をはじめ全庁的に取り組む。外部からの専門人材の活用は、他市の状況を注視し調査研究していく。



詳しくはこちら



更なる女性参画の推進を

植山 利博 議員

問 本市の政策・方針決定過程における女性職員参画の現状と展望、また、審議会等への女性登用率の推移と今後の取組をどう考えるか。

答 女性職員参画の機会の増加を目的に、女性職員の確保に向けた取組を強化する。管理職への登用は、男女を問わず総合的に評価し適材適所による登用を行う。附属機関等の女性委員登用率の目標は2022年度に40%としており、直近では2010年度末24.5%、2015年度末29.8%、2019年度末30%と着実に増加し、霧島市防災会議の女性委員は40名中2名である。

問 隼人港の漁船や遊漁船の係留において、多くの課題があるが、市としての取組はできないか。

答 県との情報共有を図り、隼人港のさまざまな課題解決が適切に図られるよう強く要請する。



詳しくはこちら



特別障がい者手当の該当者に漏れなく支給を

前川原 正人 議員

問 特別障がい者手当は、月額2万7350円が支給される。市民は、この制度をどのような方法で知ることができるのか。また、障がい者手帳を所持していなくても受給できる可能性がある。周知徹底を図り漏れなく支給すべきではないか。

答 障がい者手帳取得者には、障がい者手帳のしおりで説明し、ホームページに内容を掲載している。支給対象に該当するにもかかわらず、申請をされていない方が一定程度存在することが想定される。今後、広報誌に制度の内容を掲載するなど、更なる周知を図っていく。

問 いきいきチケットのタクシー利用は、1回あたり300円が上限である。利用促進や負担軽減のために利用金額や回数改善すべきではないか。

答 令和2年度と令和3年度のタクシー利用の状況把握や利用者へのアンケート調査も実施し、利便性の向上に努めていく。



詳しくはこちら



自然を活かした魅力ある公園整備を

川窪 幸治 議員

問 台明寺溪谷公園の維持管理はどうか。

答 同公園の管理は、霧島市施設管理公社へ委託しており、駐車場を含む公園内の草払い、遊歩道の清掃、トイレや東屋などの施設や遊具の点検を定期的に行っている。市道は、職員が道路パトロール等を行い、清掃を実施し、地域の方々にもボランティア作業で協力いただいている。



その他の質問

・コロナ禍での小中学校のあいさつ運動について

・中学校の武道館の役割と維持管理について



詳しくはこちら



市民の声を反映する早急な交通安全対策を

久保 史睦 議員

問 県道崎森隼人線と市道木之房く内山田線の交差点に信号機を設置できないか。

答 学校やこども園も近いので、歩行者の安全と円滑な車両の通行を念頭におき、地域や学校と連携し設置を要望する。



その他の質問

・国道223号と前田山下線の交差点は、非常に暗く危険である。安全対策はできないか。

答 歩行者を視認できる対策が必要になる。防犯灯設置を検討し、65歳に達した方への反射板の配



詳しくはこちら



生物多様性を学べる環境整備を

前島 広紀 議員

問 高校生の生物多様性に関する取組はどうか。

と考える。

答 国分高校では、霧島の持つ豊かな地域資源を焦点に、さまざまな生物多様性の研究課題に取り組んでいる。昨年は、天降川でカワゴケソウ生息域の生態系学習及び清掃活動を行った。国分中央高校では、国分大根の栽培復活のほか、蔓無源氏のバイオ苗による増殖、アイガモ農法などに取り組んでいる。



お祭り広場のキリシマツツジ

その他の質問

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について

・障がい児福祉政策について



詳しくはこちら